土長地区から こんにちは 今月の気になる人

コロナに負けない！

澤田 光さん（28）

澤田さんは土佐町高須地区の出身で、4年前から家業の花卉栽培をご両親と営んでいます。基幹品種として夏～秋はトルコギキョウ、冬～春はアネモネを手掛け、取材時はアネモネの出荷時期で、1日に1,500～2,000本程を出荷されているとの事でした。

就農して間もなく新型コロナウイルス感染症が流行し始め、花の値段が急下落。一時期は市場に出荷しても1円しか値段がつかないこともありました。現在は、家庭需要の高まり等で価格も回復傾向にありますが、当時は奥さんや小さいお子さんと帰高したばかりで不安だったと振り返ります。

今後については、「自分でハウスを借りて独立し、一から自分の手で経営してみたい」と目標を語ってくれました。

岡豊支所管内より

『my米食堂』とともに

倉内 由美さん（39）

徳島県出身で、就職を機に高知に移った由美さん。介護の仕事から「より専門的な知識を身につけたい」と看護師の資格を取得しました。現在は児童養護施設に勤務し、児童の健康管理や生活を見守り、サポートしています。

昨年開設された岡豊地区の子ども食堂「my米食堂」。代表を務める由美さんは、準備や運営の先頭に立ち、仲間と一から築き上げました。「周りの手助けのおかげ」と周囲への気遣い、感謝を忘れない由美さん。「多くの方に取り組みを知ってもらい、地域全体で子どもたちの成長を見守っていきたい」と、子どもたちの集いの場としても期待されている「my米食堂」のさらなる発展を願って、尽力されています。

詳しくはこちらをご覧ください！

Instagram　LINE公式アカウント

十市支所管内より

春からは一緒の保育園に通います！

竹内 琴賀ちゃん（4）
弓賀ちゃん（8ヶ月）
父：敬二さん　母：美保さん

ご家族の愛情をうけて、すくすく成長している琴賀ちゃんと弓賀ちゃん。お姉ちゃんの琴賀ちゃんは、ブランコや粘土遊びが大好き！「お姉ちゃんになったら、お勉強する！」と早くも小学校に通うことを意識し、妹のお世話も進んでしているそうです。取材時には、楽しかった思い出を写真付きで紹介してくれました♪

春から保育園に入園し、新たな環境での生活が始まる妹の弓賀ちゃん。音のなるおもちゃが好きでカメラにも興味を持ったのか、じーっとカメラ見つめてカメラ目線で答えてくれました。

ご両親は、「何か一つでも好きなことを見つけて、それに向かって取組んでほしい」と2人の成長を楽しみにしています。

れいほく支所管内より

大切ないのちを責任持って飼っています！

飼い主：式地 眞理子さん
ペット：コアラくん（年齢不明）

捨てられているところ拾った知人との縁で、昨年の夏に式地家にやってきたオス猫のコアラ。見た目がコアラに似ているからと、ご主人が名前をつけました。

両目を失明していて、来た当初は元気がなかったそうですが、ご家族や6匹の先輩猫と過ごすうち、少しずつ元気に。今では、エサがあればあるだけ食べてしまうほどすくすく成長しています。

外に出て事故やケガをしないようにと、式地さんが仕事場に構えた大きな柵の中で、たくさんの愛情を受けて過ごしているコアラ。式地さんは、「コアラにとって幸せな人生になればいいいと試行錯誤しながら飼っています」と温かく見守っています。これからも元気に育ってね。

長岡支所管内より

頼りにされています！！

橋田 富久子さん（77）

結婚を機に旧長岡農協の若妻会、婦人部と長年女性部に所属し、今年度は支部の会計を務めている富久子さん。現在はコロナ禍のため、十分な活動はできていませんが、「できる範囲で活動をして、交流を図りたい」と来年度の活動にも意欲的。長年の経験や知識から部員さんからの信頼も厚く、頼りになる存在です。

直販所向けの野菜を栽培、出荷している富久子さんの楽しみは、出荷仲間とのモーニングや女子会！ 催し物も好きで、遠くまで足を運ぶこともあります。「行きたいところはいっぱい」と笑顔の富久子さん。お出掛けの際は、運転手としてみんなを送迎しているそうです。これからも各地を訪れて、癒されてくださいね。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

平和を願って振舞われた食事

1 南国市地域

「戦争遺跡ツアー」で子ども食堂が参加者に軽食提供

南国市の大篠子ども食堂は2月22日、同市立大篠小学校の児童が企画した「戦争遺跡ツアー」の参加者にすいとん汁と芋ご飯を振る舞いました。

掩体の清掃活動や遺跡巡りを通して、戦争遺跡への関心を高めることなどを目的に、同校の6年2組の生徒が企画。当日は生徒33人と地域住民が参加し、掩体の清掃と戦争遺跡を巡るスタンプラリーを通して、戦争への理解を深めました。

生徒らの思いに賛同した同食堂では、「戦争当時の食事を再現し協力したい」という思いから、当時の様子を知る人から話を聞くなど、食材や味付けにもこだわった食事を100食用意。部員10人が朝から手作りし、参加者一人ひとりに手渡しました。

同食堂の代表を務める窪田理佳さんは、「学習を通して平和への理解や食のありがたみを感じてもらえたら嬉しい。地域の方との交流や繋がりを深め、支援することで『地域の食堂』としての役割を果たしていきたい」と話しました。

部員にアドバイスをもらいながら調理をする生徒

2 れいほく地域

ぜんまい料理教室を開催

JA高知県れいほくぜんまい部会は1月19日、RKC調理製菓専門学校でぜんまいを使った料理教室を開きました。

この取り組みは、地域の特産物であるぜんまいの生産現場や加工の流れを知ってもらうことを目的に毎年開催しています。今年は39人の生徒が参加し、ぜんまいの栽培状況や調理方法について学びました。

料理教室では、JA女性部大豊支部の部員3人が講師となり、「ぜんまいの油いため」と「スタミナ漬け」の作り方を実演した後、グループに分かれて調理を開始。生徒らは、ポイントを押さえながら手際よく調理し、2品を完成させました。

参加した生徒に調査をしたところ、ぜんまいを栽培している生徒は1人で、初めてぜんまいを食べると答えた生徒が10人いました。今後、調理師として飲食店などでの活躍が見込まれる生徒との交流を通じて、地元の特産物であるぜんまいについて知ってもらう機会となりました。

3 南国地域

JA女性部バザー開催

2年ぶりに開催された女性部バザー

JA高知県女性部三和支部は2月13日、稲生園芸集出荷場で同女性部の稲生班が中心となり、2年ぶりにバザーを開きました。当日は、部員らが持ち寄ったバザー品のほか、焼きそばや赤飯、お菓子などの加工品や手芸品などを販売しました。

この活動は40年以上前に、地元野菜を販売し地域を盛り上げていこうと始まり、長年地域の方々に親しまれている恒例の行事です。今年は、稲生地域の全戸にチラシを配布するなどPR活動にも力を注ぎ、訪れた地域の方々と交流を深めました。

4 れいほく地域

チューリップの出荷最盛期

出荷作業の様子

土佐郡大川村「農事組合法人山中農園」では、3月上旬から下旬にかけてチューリップの出荷が最盛期を迎えました。夏秋期にオリエンタル系ユリの生産を中心に行っている同農園では、5年前から冬期にチューリップの栽培を開始。今年は25品種、約14万本のチューリップを作付けし、ピーク時には1日に1万本以上を出荷しました。

農園の代表を務める山中教夫さんは、「コロナの影響により各行事が自粛・縮小されているが、ぜひ多くの人に飾ってもらって明るい気持ちで春を迎えてもらいたい」と笑顔で語ってくれました。

5 南国市地域

YouTuber「ちゃがまらん」が農業体験

収穫の様子を温かく見守る細川部会長

高知県で活躍するYouTuber「ちゃがまらん」の2人が2月8日、十市園芸部ししとう部会の細川司部会長のハウスで、シシトウの収穫体験を行いました。収穫では、辛いシシトウの見分け方やおいしいシシトウを栽培する秘訣などを説明し、魅力をPR。笑顔溢れる収録となりました。

農業体験の様子は、同月28日に高知放送のeye+スーパー「ちゃがまらんの体験！発見！あぐりこうち」で放送されたほか、JAグループ高知のYouTubeチャンネルでも配信しています。ぜひ、ご覧ください。

6 れいほく地域

JA水稲育苗センター新設

新設されたJA水稲育苗センター

土佐町園芸出荷場の新設に伴い、JA水稲育苗センターが移転・新設されました。

昨年8月24日に起工式が執り行われ、新設工事を開始した同センター。新施設は、土佐町土居大谷地区にある（株）れいほく未来事務所横に移転し、4月より職員が作業を始めました。今年は、育苗ポット約6万枚の播種作業が行われる予定です。

同センターで作業を担当するれいほく営農経済センターの石本雅哉営農指導員は「作業事故なく安全な運営に努めたい」と意気込みます。

役立つ！得する！情報 えいのう〜

れいほく地域より

■れいほく営農経済センター 営農販売課　0887−82−2803

地域資源を活用した ごま葉枯病の軽減

↑葉の病斑

近年の水稲栽培では、田植期や夏期の高温によって肥料の溶出が早くなり、ごま葉枯病の発生が多く、収量や品質が低下しています。

ごま葉枯病は、本田では葉と穂に発生し、葉では幼穂形成期(出穂20日前)頃から下葉に褐色楕円形の斑点が現れ、症状がひどくなると上位葉にも病斑が発生して枯れ上がり、田全体が茶褐色に見えるようになります。そうなると、籾の充実が悪くなり、減収や品質の低下をまねきます。本病害は、地力が少ないほ場での発生が多いため、根本的な解決策は土づくりと施肥改善となります。以下の防除対策や、地域資源を上手に活用して、ごま葉枯病の軽減を目指しましょう。

【防除対策】

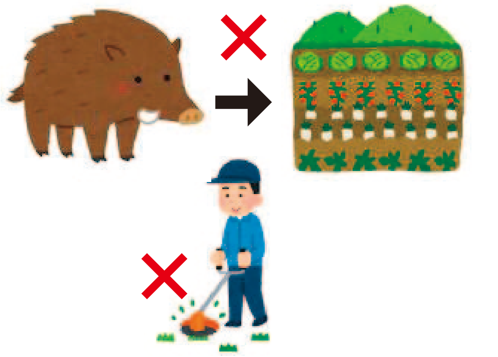
対策① 土壌改良：ケイカルや堆肥の投入（例：ケイカル150〜200kg/10a　※牛糞堆肥1〜2t/10a）
　　＊毎年施用する場合、土壌分析値などを参考に施用量を調整する。
　　（堆肥に係る料金は、嶺北地域のグリーン店舗までお問い合わせください。）

対策② 施肥の改善：分施（元肥+穂肥体系）、緩効性肥料の利用

対策③ 薬剤防除：ブラシン、アミスターエイトなど

GAP掲示板 vol.25　今月の優良事例　れいほく地域

「草刈りについて」



優良ポイント： 耕作放棄地や雑草がある場所には鳥獣や害虫が住み着きやすくなります。放置しておくと作物に被害がでるため、対策として雑草の草刈りをしましょう。

草刈り作業をする際は、防護メガネや防振手袋等を着用しましょう。毎年農作業で発生する事故件数は約300件前後となっています。自分の身を守るため安全確保をしてから作業しましょう。

南国市地域より

環境制御技術を導入してみませんか

■南国営農経済センター 営農指導課　088−863−2415

令和4年度高知県環境制御技術高度化事業の対象メニューは次の通りです。

【環境制御装置について】
①環境測定装置
②炭酸ガス発生機
③濃度コントローラー
④局所施用ダクトファン
⑤技術のステップアップにつながる環境制御機器
⑥環境制御に係る新技術として公的研究機関や農業振興センターによる実証データがあり、効果が認められた機器

【データ駆動型農業の実践に必要な通信機器】
⑦環境データをIOPクラウドに接続するために必要な通信機器

【省力化、高度化につながる機器・資材について】
⑧出荷調整機器（ニラそぐり機など）
⑨除湿器
⑩その他省力化・高度化につながると知事が認める機器・資材

これらの機器を組み合わせて導入することとなっています。

【補助率等について】
①補助率：税抜本体価格の2分の1（千円未満切り捨て）
※通信機器の導入にかかる施工費および通信設定費は全額補助対象（定額）です。
②補助上限額：10aあたり百万円（出荷調整機器は二百万円／台）
※市町村の上乗せ補助がある場合は、別途市町村にお問い合わせください。

【申請要件】
①全ての申請者について「SAWACHI」の利用登録」が必要です。あわせて、申請者区分に応じた「環境・出荷データのIOPクラウドへの接続」が必須となります。
②環境制御装置、省力化・高度化につながる機器又は資材を導入するハウスについては、環境測定装置もしくは炭酸ガス発生機を既に導入している場合か、同時に導入する場合に限り申請が可能です。

【その他留意事項】
・加点方式により順位付けが行われ、上位の方から予算の範囲内で採択されます。
・環境制御装置、省力化・高度化機器をリース導入する場合の事業申請手順について
①導入機器の選定
②見積業者の選定
・見積書作成依頼（2社以上）
③リース会社の選定
・リース審査申し込み
④県税の納税証明書（全科目）
⑤申請するハウスの面積が確認できる書類（NOSAI証書の写し、ハウス図面等）

その他、ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【問合せ・申し込み先】
◆南国営農経済センター営農指導課
TEL：088−863−2415
◆れいほく営農経済センター営農販売課
TEL：0887−82−2803

【提出〆切】
令和4年4月22日（金）

炭酸ガス発生機

環境測定装置

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

久しぶりに山の畑へ行ったら「ふきのとう」がたくさん出ていました。少し天ぷらにして食べたら春の苦さがしました。
（三和支所・79歳）

▼春の山菜いいですね！日に日に春の暖かさを感じれるようになり、過ごしやすくなってきました。桜の開花とともに、お花見シーズン到来ですね。

私は花が好きで季節が変わる度に何かの花が咲いているように心掛けて、終わった花の種を取って蒔くなど、十市のJAで花苗を買い庭に植えて楽しんでいます。ダイコンや春菊の花も生花に添えると可愛いです。
（十市支所・88歳）

▼季節の花を植えて、楽しまれているんですね！色とりどりの花々に囲まれての生活。癒しですね！

高知県に世界をターゲットにする「イチゴ」があることを初めて知りました。超高級なので多分プレゼントに当選でもしない限り、食べることは難しいかとは思いますが、いっぺん食べてみたいものです。それにもまして、諦めずにこの品種を研究し、作り続けて商品化した方々の大変な努力に拍手を送りたいです。
（れいほく支所・72歳）

▼海外でも喜ばれるようなイチゴの栽培研究に長年、取り組まれてきた成果だと感じました。JAグループ高知のネット通販サイト「とさごろ」で購入しましたが、想像以上に大きくて、食べ応え抜群でした。

私は冬野菜が好きです。何でも柔らかくて美味しく、ついつい食べ過ぎますね。果物もイチゴや文旦！堪能します。
（大篠支所・51歳）

▼冬野菜は甘みや旨味がグッと凝縮されているので、美味しいですよね！季節はすっかり春ですが、安心・安全な県産の野菜や果物を食べて、健康に過ごしましょう！

「おおきみイチゴ」、真っ赤な宝石みたいですね！アジア6ヵ国に輸出されているとは知りませんでした。販路開拓、大切ですね。
（長岡支所・72歳）

▼産地を守っていくためには、販路拡大も大切ですよね。海外の富裕層から高い支持を得ている大粒の「おおきみ」。他産地に負けない、県を代表する品種となることを願っています。

久しぶりにとさのさとへ行きました。洋菓子コーナーで色々買い、家で少し旅行気分を味わいました。シフォンケーキ美味しかった～！
（大川支所・34歳）

▼色んな種類の洋菓子を買って、楽しまれたんですね♪旅行もなかなか行けないので、ちょっとした遠出で幸せを感じますよね。とさのさとには、県内全域の農産物や加工品が販売されているので、ついつい買い過ぎてしまいます・・。

川柳紹介

「いちご食べ　笑顔溢れる　幸せだ」
（れいほく支所・11歳）

「おおきみの　いちごの太さ　誰の口」
（日章支所・75歳）

「ウォーキング　季節を肌で　感じつつ」
（れいほく支所・60歳）

「菜花路　白い遍路の　二人づれ」
（大豊支所・90歳）

折紙教室生徒募集

令和4年5月からの参加者を募集しています。参加者はJA高知県土長地区管内の女性部員、組合員及びその家族の方に限ります。折紙を通じて楽しみながら仲間づくりや情報を収集し、視野を広めて心を豊かにしましょう。

健康で楽しい暮らしを目指しませんか？

開催日程（年5回）

①令和4年　5月10日（火）
②令和4年　8月 9日（火）
③令和4年　11月 8日（火）
④令和4年　12月13日（火）
⑤令和5年　2月14日（火）

※感染状況等により中止・変更する場合があります。

場　所　JA高知県土長地区本部　3階　第3会議室
（南国市大埇乙894－1）

参加費　7,800円程度の年払い
（参加状況によって変更になる場合があります。）

材料費　毎回800円程度（教材によって変動します。）

申込先　南国営農経済センター　組合員課
（TEL：088-863-2416）

南国

購買課より 秋植え種バレイショの予約受付

秋植え種バレイショの予約取りまとめをしますので、締め切り日までにお近くの支所又は南国資材店舗にある注文書でお申し込みください。

なお、天候等により全量確保できない場合は、数量調整、多品種への変更になります。あらかじめご了承ください。（返品はできません）

品　種

デジマ	農林1号	ニシユタカ
広島産	広島産	長崎産

申込期日　令和4年4月28日（木）
※南国資材店舗必着

お問い合わせ先　南国営農経済センター購買課
（TEL：088-863-2413）